

みんなで防災！城北支署通信

みなさんこんにちは。中央消防署城北支署です。

今回はみなさんに向けて、火災現場でのことをホームページに掲載しますので、よろしくお願いします。

さて、みなさんは、ホースブリッジという資器材をご存知ですか？



ホースブリッジは消防の現場活動でよく使用する資機材のひとつですが、みなさんには馴染みが薄いのではないのでしょうか。

そこで、今回はホースブリッジを紹介します。

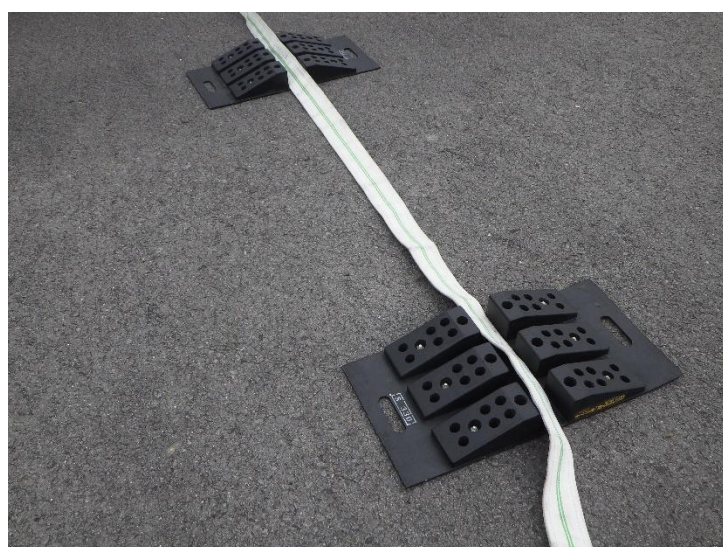
1. ホースブリッジはどんな時に使うのでしょうか

火災現場等では道路上にホースを延長し消火活動を行います。

その時、延長したホースがどうしても道路をまたぐことがあります。



そこで消防隊員が、ホースブリッジの設定を行います。



ホースブリッジを設定してしばらくすると、2台の車が通りかかりました。最初の運転手さんは、ホースブリッジをどう通ったらいいか分からず、車のタイヤでホースを踏んで通行しました。



水の張ったホースを、車のタイヤで踏みながら通行すると、ホースが裂けて車を傷つけたり、送水圧力が変動して現場活動の障害になります。



慌てて消防隊員が駆け寄り、次の車の運転手さんに「この黒い部分にタイヤを乗せて通行してください。」と説明し、ホースブリッジの上を通行してもらいました。



2. ホースブリッジの通行方法

車両は、ホースブリッジにタイヤを乗せて、ホースブリッジ上をゆっくり通過します。



現場では、できる限り誘導員をつけてホースブリッジの通行対応にあたっていますので、誘導員の指示に従ってください。

3. まとめ

ホースブリッジを通行するとき「ホースブリッジをタイヤで踏んではいけないと思った。」という声をよく聞きます。

ホースブリッジは、道路上に延長したホースによって車等の通行を遮断することなく、ホースの破損を防ぐメリットがあります。

もし皆さんが火災現場等に遭遇し、ホースブリッジを通行することがあったら、誘導員の指示に従って、ホースブリッジの上をゆっくり安全に通過するようお願いします。